



第136号  
平成30年8月15日

発行:公益社団法人  
日野市シルバー  
人材センター  
編集:広報委員会  
日野市日野本町2-4-7  
Tel:042-581-8171



会員数(人)	
平成30年6月30日	
計	1,664
男性	1,180
女性	484
6月入会者	8
(男4、女4)	
6月退会者	25
(男17、女8)	

# 第6次中期計画 今後3年間の事業目標決まる

日野市シルバー人材センター(SC)の今後3年間の事業目標を定めた第6次中期計画の策定作業がこのほど終了しました。2018年度から2020年度末までに、センターの契約金額を2017年度比1億円増の7億5000万円に、また会員数を同103人増の1710人とするなど、センターの事業基盤をより強固にすることを目指しています。

有賀信夫会長をリーダーとした計画作成チームが1年がかりでまとめた計画は、少子高齢化と人口減少が進む中で働き手不足が一段と深刻化し、センター事業は「福祉の受け手」から「労働の担い手」に一転したと位置づけているのが特徴です。その上で、2016年に実施した会員アンケート調査などを踏まえ、会員の要望

や提案に積極的に応える内容となつていきます。

事業実施計画では、年齢の高い会員を対象にした学童保育や介護予防など新たな就業先の開拓に取り組むほか、一般家庭向けなど受注増が見込める事業の開拓強化、さらに適正就業の面から請負になじまないものについては派遣への移行を促進するとしています。



小学校事務も派遣に移行

また厳しさを増している会員増強策では、会員予備軍世代に入会を呼びかける対外広報強化のほか、収入ニーズに応じて2つ以上の掛け持ち就業をより可能にするなど柔軟な対応を進めて、センターを魅力ある就業提供先にする方針を掲げています。

有賀会長は「人生100年時代を迎え、70歳以降の就業継続の受け皿としてセンター事業の持つ意義は大きい。会員の皆さんと目標を共有し、がんばっていきたい」と語っています。

中期計画は今後、各方面に文書で配布されるほか、センターのホームページで閲覧ができるようになる予定です。

## 前期地域班会議

## 各班で活発な話し合い

厳しい暑さが続く中、今年度前期の地域班会議開催が相次いでいます。

8月5日午前には百草台1、2



百草台合同班会議の様様

旭が丘1班でも班会議開催。なお、この日は他に多摩平3、班の合同班会議が百草団地集会所で会員36人(両班の会員数は計77人)が出席して開かれました。昨年度の事業実績と今年度の事業計画の説明に続き、今年度も積極的に取り組まれる適正就業推進と派遣事業の拡大、さらに現在検討が進められている民間事業所への就業期限導入について報告が行われ、その後、活発な質疑応答がありました。

## 共働・共助

**配分金の支払日**  
**8月20日(月)**  
**9月20日(水)**  
**10月19日(金)**  
**11月18日(金)**  
**12月20日(水)**  
**1月18日(金)**

再生紙を使用しています

## 委員会のメンバー紹介(敬称略・50音順)

(平成30年8月1日現在)

委員会	構成員名(◎委員長、○副委員長) 一部委員は複数委員会を兼務。※は事務局担当者
総務委員会	◎賀来 英紀、○岡村 和夫、岸 重雄、浜田 茂、由井 アキラ、渡辺 由紀子、 ※生田 宏造
事業委員会	◎徳田 功、○瀬田 隆、川瀬 明廣、菊池 明子、新藤 誠一、須崎 彰、 根津 正美、宮原 廣、米田 直康、※堀 文耶
地域委員会	◎市川 勝正、○倉澤 博、阿川 茂、梅澤 茂行、大屋 和博、小林 清、 吉野 久忠、※鶴川 正直
女性委員会	◎渋谷 善子、○森久保 玲子、上嶋 光代、上條 あつ子、木原 良江、 武藤 知江子、安井 幸子、※岡 信行
安全管理委員会	◎宮古 和則、○穴山 忠敬、内海 幸美、小原 堅嗣、金村 和雄、高島 謙治、 徳田 功、袋井 恵、松元 義一、湯本 力武、※長谷川 昂
広報委員会	◎光田 烈、○今村 優、井手 了、清水 本子、田中 妙子、戸石 哲雄、 中原 恒雄、平山 陽子、※長谷川 昂

## 40周年記念式典の準備状況

## 記念事業実行委員会

日野市SCは、来年2月に設立40周年を迎えます。

平成31年4月20日(土)ひの煉瓦ホール(市民会館)大ホールで、市長はじめ来賓各位、長年にわたり発注をいただいている法人各社、10年以上の在籍で未表彰の会員の方々をご招待して、記念事業を盛大に執り行います。

現在決定しているプログラムは、  
1. 式典(法人事業所への感謝状と会員表彰) 2. 記念講演(読売新聞特別編集委員橋本五郎氏 演題「シルバー人材センター」に期待すること(仮題) ) そのほか、会員全員に記念品を、式典当日の来場者へは来場記念品を配布。実行委員会では、ほかにも様々な企画を検討しています。8月号以降毎号の「月刊さわやか」紙上で、発表・更新していきます。

## 橋本五郎氏プロフィール

1946年生まれで1970年読売新聞入社 本社政治部を経て、論説委員、政治部長を歴任。1999年から日本テレビ「ズームイン!朝」に出演。親しみやすさとわかりやすい解説が人気。

## 理事会ニュース

## ★第4回理事会 7月30日

- ・審議事項Ⅱ正会員の入会(28人承認、8月1日28人入会)
- ・報告事項Ⅱ平成30年度事業実績(4~6月分)Ⅱ契約金額1億6185万円(前年度比3.1%増)

## 「センター行事日程」

- 7~8月前期地域班会議Ⅱ各地域班
- 8月27日 あいさつ運動Ⅱ各小中学校

## 「お知らせ」

市の教育委員会では、学童の登校・下校時の見守り運動を「スクールガードボランティア」と銘打って実施しています。この運動に参加し、買い物・犬の散歩・ウォーキング・お孫さんの送迎…などの機会に見守っていたければ幸いです。ご賛同の会員は、事務局鶴川次長まで申し込みください。教育委員会への登録(市役所で傷害保険に加入します)は事務局で代行します。(地域委員会)

## 日野市SC40周年記念式典

平成31年4月20日(土)

あと9カ月

# 教室事業「きずな」

## 13年半の活動に終止符

「きずな」はシルバー人材センターのお世話により森川琉子さんと二人で立ち上げた「懐メロ・童謡教室」です。毎月第1、第3木曜日に愛隣舎ホールで13年半活動を続けてきました。時には人材センターの総会に招かれて「懐メロ」等を披露しました。

最初は定員40人でスタートしましたが、「広報ひの」で募集したり、人材センターにも募集していただき、少しずつメンバーが増えていきました。会は、第1次から「一区切り」とし、更新しながら進めてきました。更新後に再入



「童謡と唱歌フェスティバル」で 今年6月

会する人がほとんどでしたが、休むとか、やめたい人は退会し、その都度新しい名簿を配布して、第27次まで続きました。お陰さまで大変盛況で会員数はどんどん増え100人に達しました。その陰に人材センターのご協力あり！と深く感謝しております。

最後の会員数は70名で出席者平均50〜60名の参加で賑わいました。2人でコントをしたり、弱い頭で考えたジョークを飛ばしたりして楽しく過ごすことができました。いつもそこに笑顔があつてうれしかったです。

工夫したことは皆勤賞や精勤賞を出した事。賞状をもらった人は「励みになります」と喜んで下さいました。他にも毎月誕生日を迎えた人たちのために「きずなミニ誕生会」というのを開いたり歌でお祝いしたり、ささやかなプレゼントをあげたりして喜ばれました。選曲の工夫については、会が最後に盛り上がるように、思い切り歌える歌を選び、みんなで最後は声高らかに歌いあげました。

苦労したことは「童謡と唱歌フェスティバル」に希望者が半分しか参加しなかったため、3時に会が終わってから又更に練習を続け



「きずな」チャリティーコンサート 昨年7月



ないうちに盛大な拍手が鳴り響いた事はともうれしかったです。みんな気を良くして帰りました。

今年3月20日に森川さんが自宅で突然亡くなりショックを受けてやめる決断をしました。続いて6月21日に盛大なお別れ会を開いていたので飲んだり食ったり、お別れの歌を沢山歌って会を閉じました。「先生、やめないで下さい！」と皆様から再三うれしいおことばを頂戴して惜しまれながらやめる事ができて幸せに感じております。シルバー人材センターのご協力には心から感謝しております。

(村上悦子)

# 女性委員会主催 布ぞうり講習会

市民へのセンターPRを目的とした「布ぞうり講習会」が、7月11日(水)SC会議室で開催されました。

毎回大変人気のある講習会で、今回の受講者も定員いっぱい(23人(夫婦参加で男性1人含む))が参加しました。女性委員会の講師陣と受講の生徒さんが同年代とあつて、和気あいあいの雰囲気。

参加した方は、「自分だけのオリジナル作品が作れ、古着の再利用もできて環境にも優しい」と感想を語ってくれました。

最後に、事務局からセンター入会案内をして、PRチラシを配布しました。



布ぞうり制作中の様子

# 災害級の猛暑

## 安全管理委で対策会議

7月半ばから記録的な暑さ、気象庁発表では命の危険がある暑さが続きました。これは太平洋高気圧に加え、チベット高気圧が日本列島を覆い、毛布を2枚重ねた状態によるもの。地球温暖化の影響が考えられます。

7月24日の安全管理委員会では会員の健康を守るため、この猛暑の下で安全就業はどうあるべきか議論されました。まず各就業現場で実行可能な取り組みを発表されました。その要旨は、

### ○自転車関係

- ・全員が水筒持参
- ・巡回中はお互いに声掛け
- ・首を冷やすグッズを着用
- ・1回当たりの就業時間を短縮

### ○除草

- ・30〜50分に1回休憩
- ・班長が日陰を探しておく
- ・お客様に水道水を借りる
- ・自販機の場所を探しておく
- ・仕事は午前中で終わらせる
- ・熱中症用飴を配る

### ○搬送

- ・待ち時間中に日陰で休憩

### ○公園・清掃

- ・ウォーターサーバー、岩塩持参
- ・控室で休む
- ・木陰で休む
- ・前日は睡眠を十分とる
- ・互いの顔が見える範囲で仕事
- ・30分に1回は休憩
- ・水は必ず持参
- ・就業時間をずらす
- ・ネッククーラーを着用

### ○クリーンセンター

- ・お互いが声掛け
- ・水分は全員持参
- ・時間を決めて定期的に休憩
- リビングサポート
- ・体調の悪いときは仕事を延期
- ・屋外作業は時期をずらす
- ・事前に仕事場所を確認
- ・温度計で気温を確認
- ・ネッククーラーを着用
- ・なるべく2人で作業
- ・タイマーで時間を計る

### ○植木

- ・1時間に1回水分補給
- ・ネッククーラーを着用
- ・時々顔を合わせる
- ・救急箱に冷水を入れておく
- ・猛暑の中では計画段階から作業の時間や方法(2人で作業等)についてお客様のご理解を得るとともに、必要なグッズ(ネッククー



ネッククーラー

ら作業を延期。

作業時はネッククーラーを使用し、タイマーで時間管理。30分以内に水分補給、またクールスポットを活用。35度以上の時は15〜20分毎に作業中断するなどの対策が必要でしょう。いづれにしても最後は自分のこと、自己管理をしっかりとやりましょう。

## 今年度2件目の事故

今年度2件目の会員就業事故(傷害事故)が7月9日に発生しました。

事故の状況 9日午前11時ごろ、除草作業をしていた男性会員が壁に残っていた蔦(つた)の葉を引っ張り取ろうとしたところ、つるが滑って手が離れ、そのまま後ろに転倒。後頭部から出血があったため病院に搬送され、診断の結果、軽い外傷とわかって処置を受けた。翌日以降の通院は不要だった(通院1日)。

転倒による負傷ですが、転倒す

る状況を自ら招いた側面もあります。作業の際は、それによって発生する危険性にも配慮が必要で、常に安全第一を心がけてください。(安全管理委員会)

## 白熱電球等をLEDに交換

### 東京都広報誌より

8月15日から、白熱電球または電球型蛍光灯をLED電球に無料で交付します。詳しくは、WEB「LEDムーブメント」で検索または☎0570-066-700まで。主な点は次の通り。

- 対象者 18歳以上で1人1回、
- 交付場所 参加協力店(指定の地域家電店及び家電量販店)、



- 口金サイズ E26 または E17 (切れている電球でもOK)、
- 等々。

## 市施設の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます

★各種がん検診、肝炎ウィルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111